同志社大学「次世代研究者」プロファイル

2019年7月現在

基本情報					
フリガナ 氏名	ナカヤ 中屋　　マサコ 昌子	性別	女	生年	
氏名（英字）	NAKAYA　　Masako	メールアドレス	mnakaya(a)mail.doshisha.ac.jp		
学歴	1997年 9月 北京大学考古文博学院入学 2001年 7月 北京大学考古文博学院卒業 2010年 4月 同志社大学大学院グローバル・スタディーズ研究科博士前期課程入学 2012年 3月 同志社大学大学院グローバル・スタディーズ研究科博士前期課程修了 2012年 4月 同志社大学大学院グローバル・スタディーズ研究科博士後期課程入学 2018年 3月 同志社大学大学院グローバル・スタディーズ研究科博士後期課程修了				
職歴	2001年11月－2003年 7月　中国民生輪船有限公司 2018年 4月－2018年11月　中日美容専門学校非常勤講師 2018年 4月－現在　近畿大学非常勤講師 2018年 9月－現在　同志社大学フェミニスト・ジェンダー・セクシュアリティ研究センター嘱託研究員 2019年4月－現在　同志社大学研究開発推進機構・グローバル地域文化学部特別任用助手(有期研究員)				
指導教員	内藤　正典　教授	取得学位	博士(グローバル社会研究)	専修外国語・読解可能な外国語	中国語・英語・トルコ語
研究活動					
研究分野	現代イスラーム地域研究				
科研費分類による研究分野	地域研究、政治学、文化人類学、宗教社会学				
研究テーマ	現代トルコにおけるワクフとムスリム・コミュニティに関する研究				
研究概要	本研究は、イスラームの宗教的寄進財であるワクフに焦点を当て、ワクフの社会的機能について考察することを目的とする。その中でも特に、トルコ共和国（以下、トルコ）に焦点をあて、トルコが世俗法の下で建国されて以来、ワクフが世俗法の下でどのように継承され維持されているのか、そしてワクフはどのような社会的機能を果たしているのか、またワクフの社会的機能がムスリムコミュニティの安定にどのように作用しているのかについて明らかにする。				
研究業績	**◆学位論文** 『トルコは如何にしてムスリム・ディアスポラを受け入れたか: ウイグル亡命者の軌跡をたどる』中屋昌子, 同志社大学博士論文, 2018年3月 ◆論文 「中国における『イスラム復興』と宗教統制について: 新疆ウイグル自治区の事例から」中屋昌子『イスラム世界』(80), pp.1-42, 2012年 ◆著書(共著) *The Turkish Model: Reality and Applicability*, Doshisha University,İdiris Danışmaz(ed), Masako NAKAYA "The Chinese system of Religious　Control and the Uyghur at Home and abroad in Turkey" pp.59-68, 2015年 『周縁を生きる少数民族：現代中国の国民統合をめぐるポリティクス』澤井充生・奈良雅史編＊中屋昌子担当執筆箇所「社会主義の国からアッラーの道を求めて: トルコへ移住したウイグル宗教家のライフ・ヒストリー」pp.181-216, 2015年 ◆口頭発表(抜粋) 「イスラームの管理と統制: 新疆ウイグル自治区を事例として」中屋昌子, 中国ムスリム研究会, 第23回大会(於早稲田大学), 2012年 「新疆ウイグル自治区における『イスラム復興』および宗教統制の構造と近年の新たな展開について」中屋昌子, 日本中央アジア学会, 第16回大会(於KKR江ノ島ニュー向洋), 2014年 "State Control System of Religion: comparison of Turkey and China", Masako NAKAYA, World Congress for Middle Eastern Studies, 4th(Middle East Technical University, Ankara, Turkey, 2014年 「トルコにおけるイスラームの管理と統制: 亡命ウイグル人が直面するもうひとつの宗教管理 」中屋昌子, 中国ムスリム研究会, 第29回大会(於東京大学), 2015年 「ウイグル・ディアスポラがみたトルコのムスリムネットワーク」中屋昌子,中国ムスリム研究会, 第34回大会(於立教大学), 2018年				
所属学会	日本中央アジア学会、日本文化人類学会、日本イスラム協会				

同志社大学「次世代研究者」プロファイル

キャリア関連	
志望進路	教員（大学・高専等）、研究員（研究機関）
進路	
自己PR	本研究を通じて、宗教の範疇には収まらない社会的機能としてのイスラームを考察しています。
取得資格等	

※メールアドレスの（a）は＠を表しています